

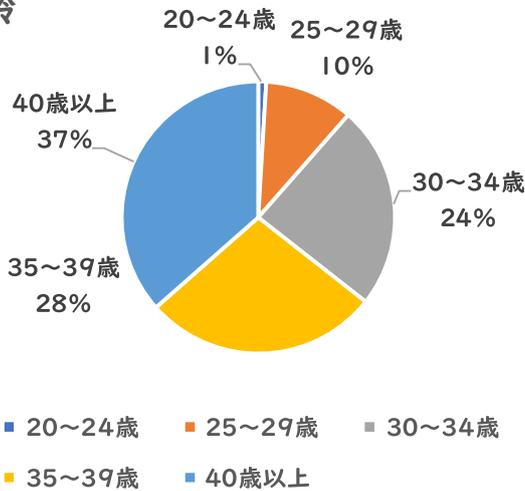
令和7年度若者・子育て世代向け アンケート結果

- 回答者 南砺市内在住の若者・子育て世代219名
- 実施期間 令和7年10月1日～10月31日（31日間）
- 回答方法 富山県電子申請サービス（インターネット）による回答
- 周知方法 市HPに掲載、お知らせ一斉配信にて市内全保育園保護者に案内

南砺で暮らしません課 ジェンダーギャップ対策・婚活若者係

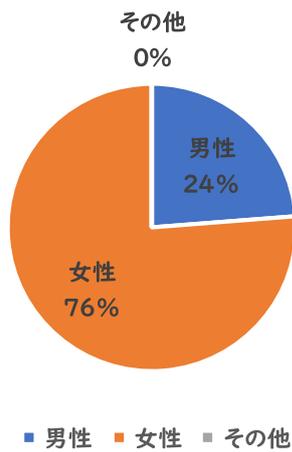


①年齢



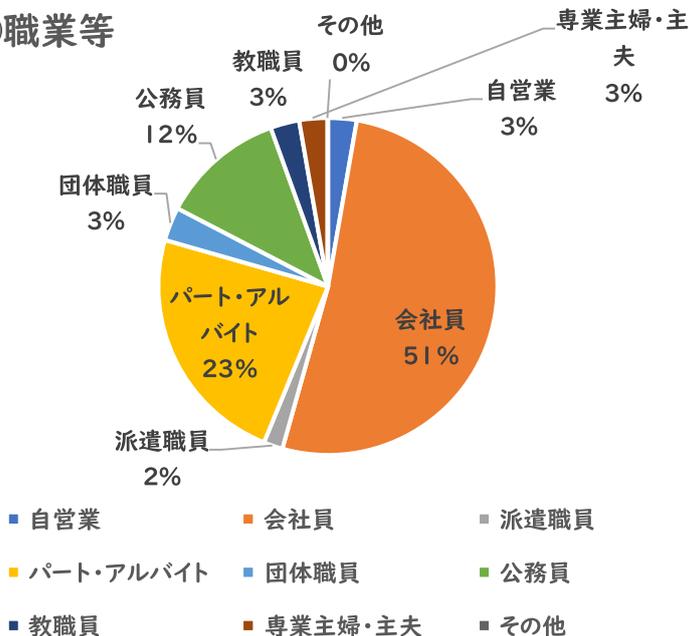
年齢	人	%
20~24歳	2	1%
25~29歳	23	10%
30~34歳	53	24%
35~39歳	61	28%
40歳以上	80	37%
計	219	100%

②性別



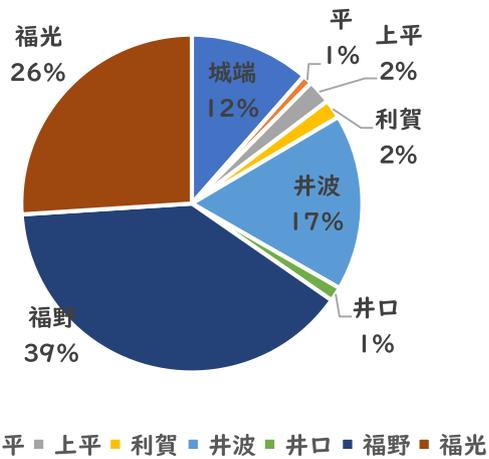
性別	人	%
男性	52	24%
女性	167	76%
その他	0	0%
計	219	100%

③職業等



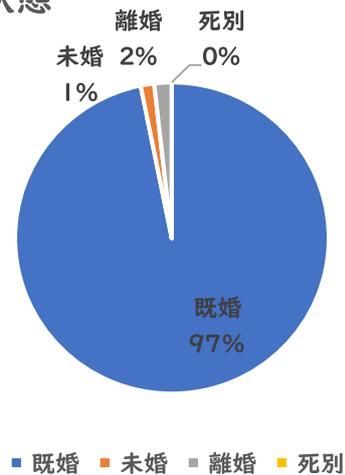
職業等	人	%
自営業	6	3%
会社員	113	51%
派遣職員	4	2%
パート・アルバイト	51	23%
団体職員	7	3%
公務員	26	12%
教職員	6	3%
専業主婦・主夫	6	3%
その他	0	0%
計	219	100%

④居住地



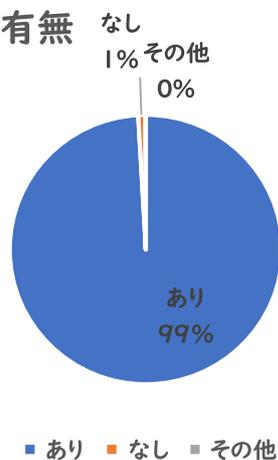
居住地	人	%
城端	25	12%
平	2	1%
上平	5	2%
利賀	4	2%
井波	37	17%
井口	3	1%
福野	86	39%
福光	57	26%
計	219	100%

⑤婚姻状態



婚姻状態	人	%
既婚	212	97%
未婚	3	1%
離婚	4	2%
死別	0	0%
計	219	100%

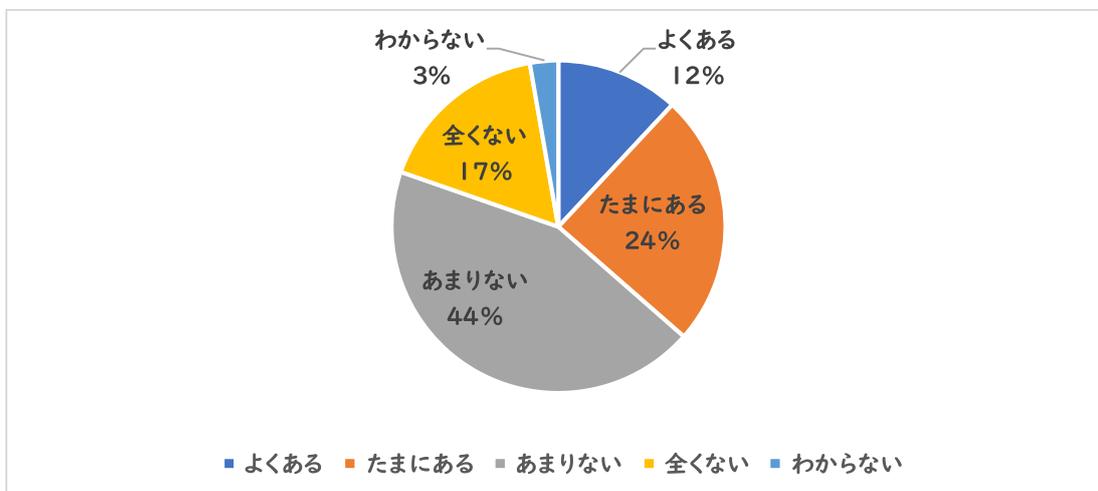
⑥お子様の有無



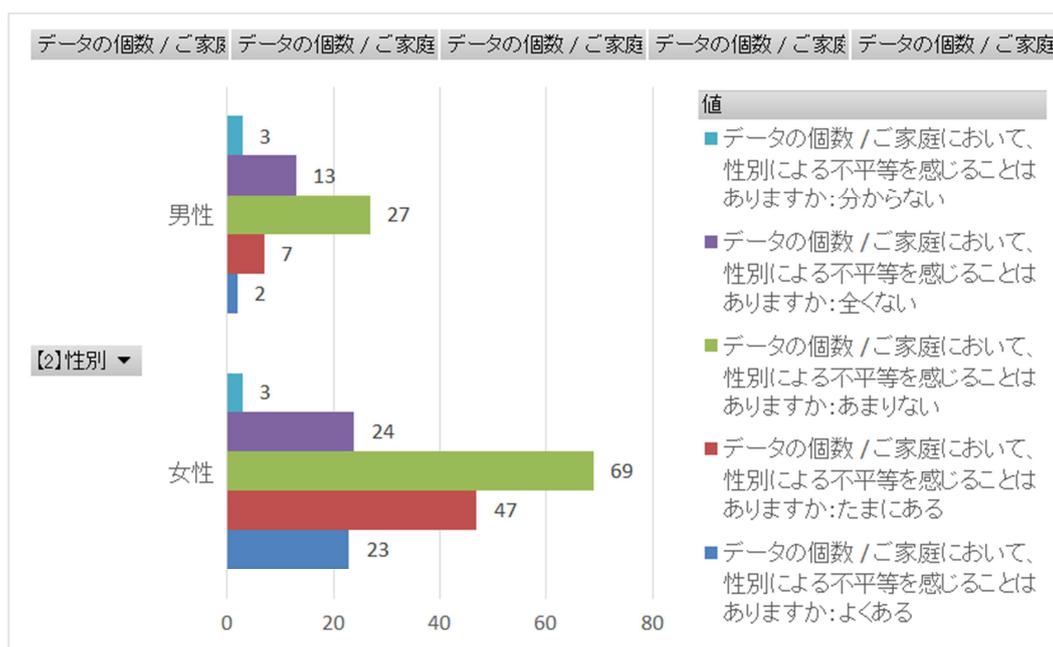
お子様の有無	人	%
有	217	99%
無	2	1%
その他	0	0%
計	219	100%

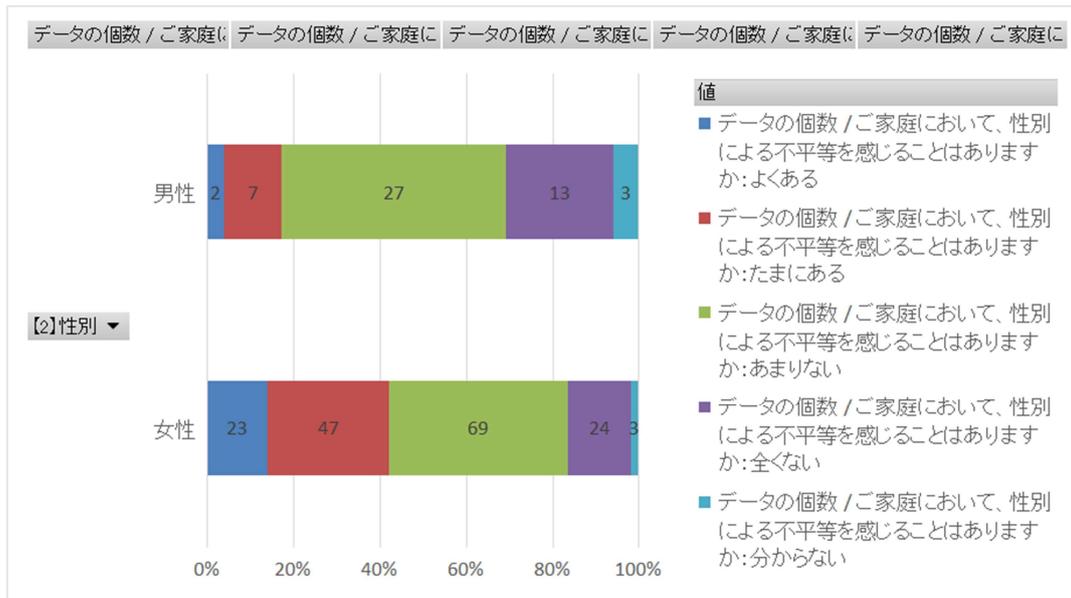
2. 家庭

①ご家庭において、性別による不平等を感じることはありますか



	人	%
よくある	26	12%
たまにある	54	24%
あまりない	96	44%
全くない	37	17%
わからない	6	3%
計	219	100%





②それはどんな時ですか。

【家庭育児のこと】

- ・子育てに関する負担（保育園関連の準備、連絡、予防接種の予約、付き添い、病気になった時の仕事の調整、日頃の世話）が女性の方が大きいと感じる
- ・男は仕事と都合のいい時だけ育児。女は家事、育児、仕事
- ・2人ともフルタイムで働いてるのに、家事育児は9.5割妻がしていることに不平等を感じる。
- ・義実家に行くと嫁が動かないといけない様な雰囲気。
- ・夫婦内ではそれぞれ出来ることを役割にしていますが、親世代(70代)が母親とは、父親とは、という形にこだわりがある。そのため、とくに母親に対する役割の押し付けが強い。
- ・夫は仕事して帰ってきて寝るだけ。仕事が遅いから仕方がないが、妻が仕事して子供の世話してテレビの時間もない平日
- ・家事をするのが圧倒的に女性が多いため。
- ・家事は女性がすると思われるところ
- ・家事の負担率
- ・子育てや家のことは、母親がやって当たり前であること。母親は責任をもって家のことや子ども達のことをしなければならず、仕事をして疲れていても、多少体調が悪くても、どんなに忙しくても、必ずやり遂げなければならない環境に不平等を感じます。
- ・フルタイムで同じように仕事をしていても、育児や家事は基本的には女性がするもの、が少なくともある。
- ・家事はほぼ女性がする。逆に、力仕事や地域の掃除等は、男性がしている。
- ・女性ばかり家事や育児をしなければいけないところ

- ・なぜ母親ばかりが家事をするのか
- ・家事分担の割合
- ・家事、育児は女の仕事とされているところ。言われたことをするだけで自分からはしない。
- ・子育てをしている間は良いのですがたまに疲れているときは機嫌が悪く自分に強く当たられるときがあります。
- ・女が家事（食事、洗濯、掃除）をする。
- ・嫁は我慢。女は我慢しなくてはいけないという環境、状況です。家事育児、その上夫の世話をするのが当たり前という生活が当たり前になっています。
- ・子供がいる事で、働きたくても働けない。男性はたくさん働けて羨ましいと感じる。
- ・女の子なんだからとか男の子なんだからとか
- ・旦那が変則勤務なので、基本的に私が子ども優先の勤務になっているから。子供が体調不良な時も休むのは女の方だから。
- ・母親が家事を主にしていること
- ・家事、子供の育児
- ・子供が熱を出した時、当たりに母親が休む段取りになること。夫がこちらの予定も聞かずに飲み会や友人との予定を決めてくること。（こちらは頼んで段取りしてから約束をするのに）
- ・母親の家事や育児負担が多い。
- ・炊事洗濯は女性がやるのが当たり前。お願いをしない限り男性は動かないし、そもそも自身に関わることに認識していない。
- ・家事は女がして当たり前。当然と思っている。さらに、男は仕事して稼いできとるからだからと言います。仕事しかできん。それしかすることの出来ない無能な奴。
- ・女性が家事をメインで感じる感じになっている
- ・男は家事ができなくてもしょうがないという両親の言葉
- ・男だから力仕事お願い的な面がある。
- ・授乳
- ・家事の分担。洗い物、洗濯、掃除は女性が主
- ・家事が女性。力仕事は男性。
- ・育児、家事は女がやる！とたまに決めつけられるとき。
- ・家事が女性の仕事になっている。
- ・女性が家事全般をして当然の風習。フルタイム？残業して帰るのでクタクタです……
- ・家事は女性がやるのが当たり前で、男性が家事をやると偉いになること。
- ・父は、子の面倒、世話をしない。家事は、基本母。父のすることは、基本自分のこと、ゴミ捨て程度。父は自由に、夜に呑みに行けるが、母は、子を産んでから、呑みに行ける

ことはない。我が家は、核家族で、祖父祖母もいないからかもしれないが、母1人で負担しているように感じる。

- ・家事全般はお母さんの仕事と言った感じのプレッシャーを感じる。
- ・育児や家事が全て母親の仕事になっている。共働きでどちらも同じように朝早く遅くまで働いていても保育園や学校や医者からの連絡が全て母親に行く。
- ・共働きでも家事育児は女の仕事
- ・家事は女がやる物というスタンス
- ・ご飯の用意、子供のお世話(歯磨き、寝かしつけ、習い事の送迎等)など、主は母がしていることに不平等を感じる。
- ・子供が病気などの時母親が仕事を休む事になる。仕事をやめなくてはいけない
- ・子は母乳で育てたいという考えがありますが、授乳時は母ばかり大変と感じます。
- ・夫が家でも仕事をしてる時。必然、私は家事や子守りをしてる。あー、今の時代でも母親は子守り役なんだなあと感じることがある。
- ・女性の方が家事、育児をすることが多い。男性の方が収入が多い。
- ・女性が食事の準備をするのが当然、草刈りは男性がするもの、という空気を感じるとき。
- ・基本的な家事育児は令和になっても女性だなと思う
- ・家事育児は母親がして当たり前？家事育児をお願い、してもらいありがとうと言う。母親はそれを当たり前で毎日しているがありがたいもない。母親が家事育児をするのが前提なのがそもそもどうなの？と思うこちらも正社員で働いてるので負担が大きすぎる。
- ・夫は子供の朝の支度をあまりせず、自分のことだけして、出勤できるところ。夜、私は片付けなどしているのに、夫はまったりしている時。
- ・核家族です。家事や育児など基本妻の仕事。手伝ってと声をかければ夫もしてくれますが、率先してはしないです。
- ・家事・育児は女がやるものって認識が抜けてない。

【仕事のこと・その他】

- ・どうしても子供が熱を出した時のお迎えやお休みは自分がすることになり有給や時間休が無くなってしまふ。私の家庭は財布別なのでなおさら不平等を感じる。また子供ができる前は夜勤をしていたがそれも私だけが出来なくなり給与が減っている。
- ・子の母(妻)が職場で時短勤務をしているとき(女性が圧倒的に多い)。子どもが病気になった時、病院に連れていくのは子の母(妻)が多い
- ・旦那が変則勤務なので、基本的に私が子ども優先の勤務になっているから。子供が体調不良な時も休むのは女の方だから。
- ・子供が体調不良時に、母側が休むだり病院に連れて行くことが圧倒的に多いです。夫の考え方はもちろんですが、夫の勤める会社側の理解も少ないように感じます。男性側の育

児休暇等取得に関してはいわゆる大手企業(富山県でも名が知られている企業)だけで許されている制度のような気がしてなりません。また、50代から上の世代が特に「男性が休みを取ったり家で家事をすること」について違和感を覚えている人が多い気がします。

- ・仕事の時間が短い

③どのような変化があれば、暮らしやすい環境になると思いますか

【家庭育児等のこと】

- ・父親が主体として動こうとする意思が芽生えれば変わると思う
- ・子供が熱を出した時にはたまには迎えに行ってくれば暮らしやすい
- ・女は24時間育児とゆう考え。男はそうでない。共働きなのにその考えが変わらない。変わることを。
 - ・家事育児を同じ割合でする。
 - ・義父母が変わらないと厳しいと思う
 - ・子供に負担がかからず働ける環境があればありがたい。
 - ・親世代の考えが変わればいいが、それはもう難しいと諦めている。なので無視。
 - ・男性も家事を手伝いではなく積極的にできるようになったら良いのではと思う。
 - ・父親の意識が変われば、気持ちが楽になると思います。母親が我慢を強いられていることに気付いて欲しいです。
 - ・パパも積極的に育児家事を行う
 - ・共働きなら尚更、お互い分担しあって、片方だけが毎日大変ならないようにする。
 - ・男性も家事や育児を率先してして欲しい
 - ・私自身話すということが苦手なので話し合いを増やすようにしたいと思います。
 - ・互いに家のことを行う
 - ・夫の親離れ。いつまでたっても、親に頼っているのを見ていると、たまらなくなります。
 - ・子供との時間も作れつつ、思うように働ける環境が欲しい。
 - ・1人の人間として年齢や性別関係なく接したい
 - ・遅番でない時は家の家事を終わらせておいてほしい。洗濯物とか。
 - ・半々くらいの割合で夫が早く帰ってきて家事する日があり、母親はその分仕事をもっとできる日があるといいな
 - ・言われたことだけをやるのではなく、暮らしがよくなることを自分でも考えて、行動するようになったらいいと思う。
 - ・仕事と育児と家事とのバランスが辛いです。金銭的に働かないといけない状況の中、子供とのコミュニケーションをとる時間が減り、家事や名前の無い家事に追われる日々でも悪循環です。仕事の時間が短く給与もあるのが理想です。

・母親ばかりが子供の病気などで仕事を休まないといけないという不安が無くなるという
と思う

- ・父親が積極的に家事や育児に参加する。
- ・曜日または週ごとの家事役割の交換や推奨イベント等
- ・性別関係なく、家事をするのが当たり前になるといい
- ・兄弟間での家事分担の差をなくす。親世代の意識を変える
- ・若干不公平と感ずることがあっても、暮らしにくいとはまた別に感ずます。だれだから
お願いでは無く、みんなが自分から手伝いをできる環境や精神が大事では？

・家事や子育てが男女平等

・家事代行

・男性も少しいので家事することをルーティン化してほしい。皿洗いだけでも手が荒れ
ないのでとても助かる。

・感謝と協力

・父の考え方が変わる。周りはみんなしてない、自分の両親もそんな事してない、と、理
由をつけられるので、そもそもの考え方を変えない限り無理。生まれ変わらないとだめか
も。

・思いやりを持って困っている人を助けたら良いと思う。

・三世同居しているが、祖父母世代から意識改革をしてもらう。家事育児で何があっ
ても（保育園や学校からの連絡があっても）必ず母親に言うのではなく父親に言うようにす
る。自分たちが子育てをしていた時代と違うのだから今の時代の子育てにアップデートす
べき。夫側の親との三世同居をしているが何かあるたび嫁に言ってくるのをやめれば
いい。実の息子である父親に伝え、父親が動く姿を見れば子どもたちは自然と不平等なく
動けるようになると思う。意識改革のされていない祖父母に育てられた夫であっても今か
ら意識改革すれば多少なりとも不平等改善の意識が出るのではないだろうか。

・男は仕事、女は家事育児、が令和でもまだまだ根強く、子どもの風邪で休もうとしても
男ばかりの職場だと休みにくいようです。年上の方の考え方が違うため、男は仕事してお
金を稼ぎ、妻子持ちでもタバコ酒ギャンブル当たり前の方がとても多いと聞きます。その
考えに洗脳されるので、家庭内での変化で変えられるものではないと思います。

・自分のことは自分でやる

・平等に家事育児を分担

・協力

・男性も短い時間で帰宅しやすくなる

・家事・育児の分担

・料理は男女問わず一定以上のレベルはできるよう子供のときからしつける。

・昭和世代の固定概念がもっとなければいいのにと感ずる

・母親も父親も家事育児を平等に担えばいいと思う

・完全な平等は全く求めていない。ありがとうと尊重することが大事。相手を下にみたり、蔑ろにしない。とはいえ心の奥底でこのような考えをしていると、行動に表れる。相手への当事者意識を持つことが大事。

- ・時間や金銭的余裕。
- ・最低限できる家事・育児やって欲しい

【仕事のこと・その他】

- ・家庭というより職場・社会の理解が必要
- ・男性側も積極的に子供の為に休みを取得してくれるようになると気持ち的にも身体的にも余裕が持てます。
- ・フリーランスということで家で仕事をするなどは言えないので、今の状態から抜け出そうとまでは思いません。ただ収入(お金)が増えればゆとりが生まれるのではないかと感じています。
- ・やはり、収入が増えればパートすることができ、子供達とゆっくり関わる時間ができる
- ・あいつがおらんくなれば
- ・父も乳が出ればいいのにと感じます。
- ・別居
- ・保育園を早くから預かってもらえる

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか。

【家庭育児等のこと】

- ・家族での話し合いや、世の中の変化。
- ・母親が家のことや子供を中心に生きるが当たり前前に育てられた人の意識を変えるのは難しいと思います。上記のことを言ったところで、理解はしても、やらされていることにイライラして、子ども達にイライラをぶつけてしまうので、あまりお願いできません。母親があまり期待せず、少し手伝ってくれたところで、ありがとうと言うので我慢する以外思いつきません。
- ・男性もやって当たり前という概念
- ・自分から話し合いをすれば良いのかなと思います。
- ・互いを思いやる、尊重し合う、感謝する
- ・夫の親離れ。
- ・親の協力
- ・自分に余裕をもつ
- ・旦那の理解。
- ・仕事や家事の緩和。心のゆとりがほしい。

- ・固定観念

- ・性別に関係なく家庭内でも周囲の人に配慮し、負担をなくそうという優しさ

- ・自分も含めた意識改革と時間

- ・考え方を変える。たとえば、頭がいい学校をでているから地区の経理関係を任せる。これは適しているかいないか、したいかしたくないかは本人の個性や経験によるもののため決めつけてはいけない。しかし、やりたくなるような方向への興味を持たせるのはOK。

- ・経済力

- ・女性の家事と仕事の負担をリスト化して男性にプレゼンする！

- ・お金、時間、心の余裕を持つこと

- ・夫婦で、家事や子供のことを平等にできたら、こんなメリットがある、母にばかり任せて、父が関わらなかつたら、こんなデメリットがある。ということ、父親にも教えてほしい。母は、妊娠出産に伴い、母親学級もあり、自分がしないと！という意識があるが、父親は本当に何もわからないまま、時が過ぎている。父は全く頼りにならない。むしろ、しょうがないことで子供に怒ったり、大人のはずの父が、自分のことしか考えておらず、1番子供だなど思うことが多々ある。

- ・自分はどんな状況、または、どうして欲しいのかを家族と話し合う。

- ・経済的なゆとり。夫の仕事もですが、私自身も。子どもが小さいうちは時短勤務やパートで我慢するのも、妻側のかたが大半であることでしょう。

- ・学校の家庭科で調理実習の時間を増やす。学校でクラブを作り、クラブ活動を通じて家事を身に付ける。家では、親子で、夫婦で一緒に調理する時間を設ける。

- ・お互いの許容範囲を広げる

- ・育った環境が違うのもう諦めている。大人になってから変わってほしいと言うほうが不可能

- ・お互いを思いやる。

- ・本人の気持ち次第だから難しい

- ・夫が率先してする

【仕事のこと】

- ・配偶者の働き方の変更

- ・社会職場での家庭の理解。男性も育児の早退や休みが取りやすい空気にする。負担をかける同僚には国から手当支給

- ・働き方が変わったり、給料が上がる、物価ももう少し落ち着いたらと思います。

- ・夫の就業時間は毎日11時間のため、就業時間を減らし帰宅時間を早くする。就業時間が減っても今と同じお給料が出る。

- ・収入アップ

- ・会社や社会の理解

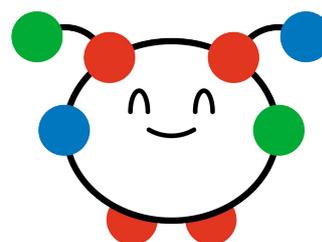
- ・男女関係なく休める風土。会社にもよるが男性は子供のことで都会ほど休めない雰囲気があるのではないかと思う。男性の意識を変える。女が休むのが当たり前になっている。
- ・保育士の処遇向上

【地域のこと・その他】

- ・意識改革、更新
- ・気にしない
- ・何かしらのなにか
- ・母乳同等レベルの粉ミルクの開発や、手間いらずの商品をもっと低価格で提供されると、普及すると思います。

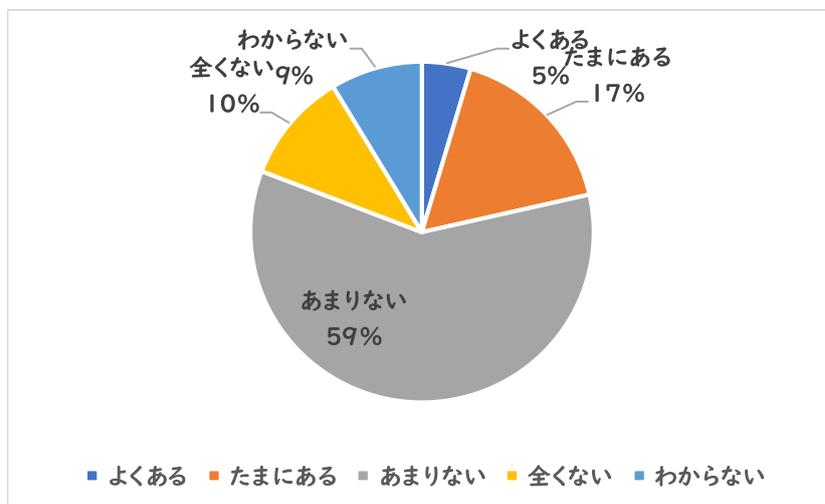
【自治体による支援体制の強化】

- ・孫のいる世帯に対して子育て意識改革のため祖父母宛の講義を行う。5回行けば商品券あたるなど餌で釣ることも考える。学校や保育園も緊急連絡先通りに連絡を入れる体制を徹底する。緊急連絡先が母親→母親の実家の祖母→夫になっているにも関わらず最初から同居している先の電話に連絡するなど言語道断です。学校や保育園や市役所もルールを守ることを学ぶべき。紙で提出してある緊急連絡先をいちいち確認するのが面倒であれば名札についているQRコードを読み取れば本人情報が見られるようなシステムを導入するなり考えてほしい。
- ・いっその事、義務化してくれたらいいと思います。
- ・親を変えるのはもう無理なので20、30代の男の意識を変える必要がある。学生のうちから家事育児をすることが当たり前という教育を行うこと
- ・職場や社会へのジェンダーレスの啓蒙
- ・父親対象の市の講座、父親が集まるイベント、父子参加の宿泊学習などの開催
- ・中小企業向けに説明会等をしてほしいです。子供が生まれた後行われる、〇〇検診やはっぴー3等の集まるイベントに関して「父母での参加」を条件にして父側の参加を促し父側の理解も得られるようにしてほしいです。
- ・お金、家事代行などのサポート

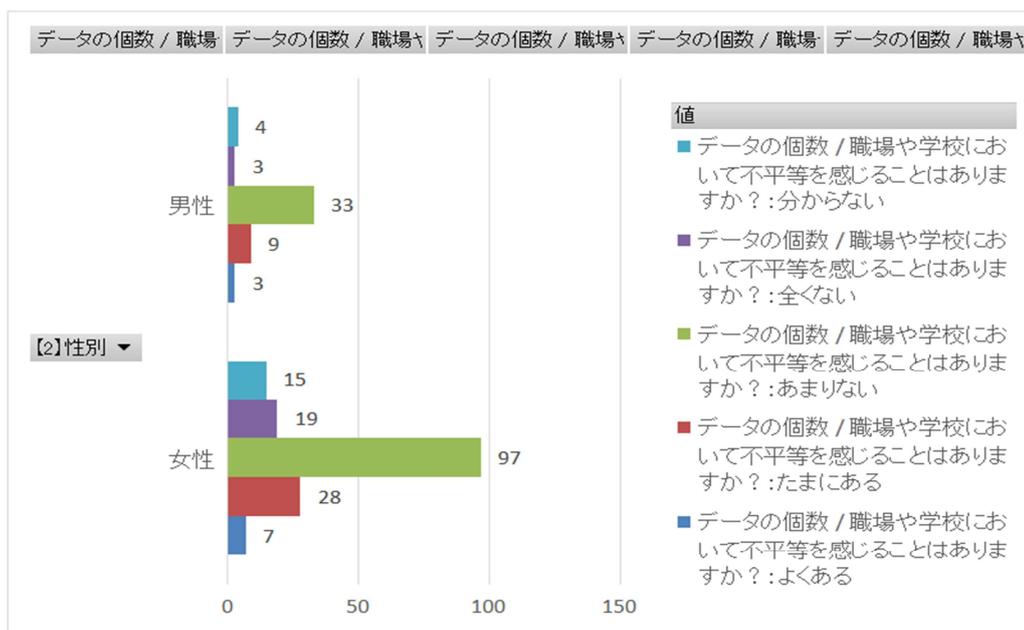


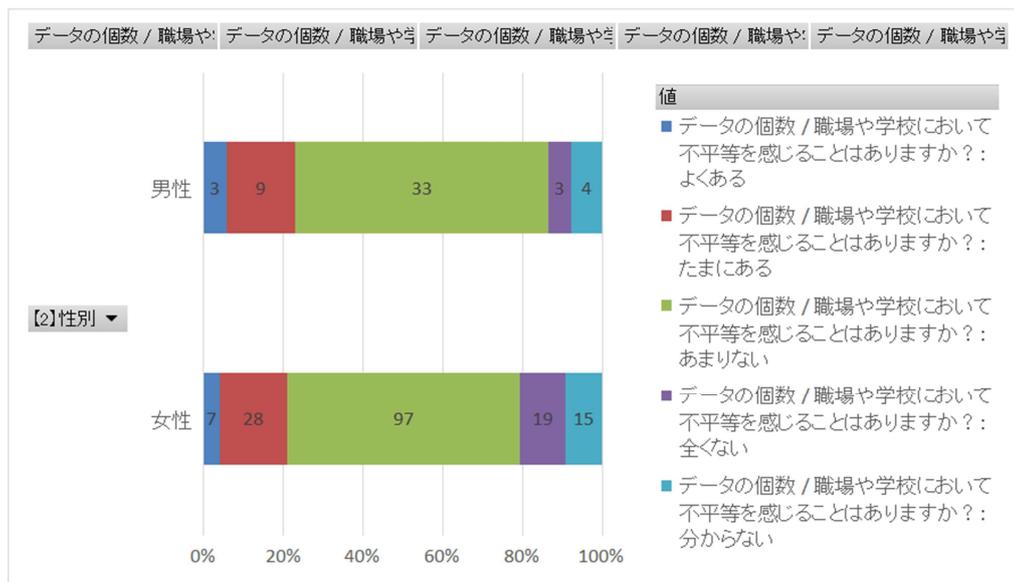
3. 職場・学校

①ご自身の職場や学校において、性別による不平等を感じることはありますか。



	人	%
よくある	10	5%
たまにある	37	17%
あまりない	130	59%
全くない	23	10%
わからない	19	9%
計	219	100%





②それはどんな時ですか。

【職務内容】

- ・産休育休を経て職場復帰したものの、昇給が先送りになるなど不平等を感じる
- ・上司が部下に関わる時、相手によって態度が違う時。
- ・お茶出し、片付け、花当番、電話番等
- ・責任ある職は、男性になりがち。
- ・シフトの勤務
- ・男子トイレの掃除も女の仕事
- ・女性の扱いが丁寧で、男性の扱いが雑に感じます。
- ・男女で仕事内容が違う

【職場環境】

- ・育休の期間が女性の方が長い（男性は取っても1ヶ月程度）
- ・女性の勤務時間が短い（男性が長すぎるとも言える）
- ・いわゆる3Kと呼ばれる職場における女性の数の少なさ（ジェンダーレス化が進まない）
- ・男性の方が優位。
- ・女性ばかりが人員削減の対象となっているように感じられ、疑問を抱いてる
- ・コミュニケーションと性格なのかと思います。
- ・子供がいつ休むか分からない、いつ呼び出されるか分からない。体調が悪い時には、心配で仕事に手がつかなくなるなどで、正社員、責任のある仕事は無理だと思えます。
- ・私自身は気にはならないが、女性の対応は女性で男性の対応はどちらでもというところ
- ・掃除は女性の仕事になっている
- ・子供の風邪などで男性が会社を休むのは女性が休むのに対して理解が得られていないか

ら

- ・女性は今短勤務になると役職がなくなりキャリアアップできない
- ・休みずらく、有給が取れない。
- ・子どもの体調不良の時、主人は仕事を休みにくい。
- ・お茶出し電話番など女性の仕事になっている
- ・女性というだけで(母数に対して人数が少ない)何かと役が回ってくる
- ・子どもの行事や、体調不良での欠勤において、嫌味を言われたり、仕事を外されたりする。母親にいつてもらえばよい。など

【職場や周りの人の価値観・対応】

- ・性別というよりは母であることに対するバイアスを感じる
- ・決めつけからのお願い。
- ・なかなか、休みが取れず妻に育児や家事の負担をおわせてしまう
- ・男だから、女だから、というなんと無く仕事に分かれているものがある。(良くも悪くも)

③どのような変化があれば、過ごしやすい(働きやすい)環境になると思いますか

【職場環境】

- ・“女性の細やかな視点で”という理由で、女性だけの改善チームが作られることに違和感がある。また、時代にそぐわない発言をする上司がいて、価値観のギャップを感じる。
- ・女性が働きやすい環境
- ・誰にでも平等に関わる方が上司になるとよい。
- ・コミュニケーションを増やすようにしたいと思います。
- ・男女で昇進の差があると思います。
- ・育児を理解してほしい。なぜパートタイマーなののかも理解してほしいです。残業ができない理由を理解していない人が多いと思います。
- ・女性の採用が極端に低く、女性用の施設が殆ど無いため、たぶん不自由していると思う
- ・男女関係なく全員のローテーションで当番をまわす
- ・会社の環境整備(掃除の人を雇うなど)
- ・男性育児の重要性、必要性を理解
- ・男女関係なく希望を言いやすい職場、要望が通りやすい職場。上司が古い考えではないこと。
- ・気軽に休める環境づくり
- ・女性も残業できる環境。男性が子育てで休みやすい環境。
- ・男性でも家庭のことで休みやすい雰囲気があればいい。
- ・無理ですね。家庭単位ですら変化できない世の中なので無理だと思います。
- ・自分のトイレは自分で掃除

- ・性別問わず役を配置
- ・企業が子の看護休暇（有給として）がしっかりと義務付けられたら良いと思う。

【自治体による支援体制の強化】

- ・働く女性のロールモデルが必要
- ・チャレンジしたくなるような社会。
- ・育休や介護で休みの人の同僚には国から手当支給
- ・人材不足の解消、ロボット仕様し生産性向上
- ・男女差別なく平等な対応が望ましいと思います。

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか

【職場環境】

- ・積極的に話すときは具体的に相手に伝えたいと思います。
- ・女性を上司にしてほしいです。もしくは、ジェンダーレスの人でもいい。もしくは、男であっても、子供を2人の大切な子供だと思いながら、育児家事をともにしてくれている男性を上司にしてほしい。
- ・女性の採用を増やす
- ・経営者、上司によるヒアリングの場
- ・現在の状況からの改善意識を持つ
- ・上司の意識改革
- ・上司の手腕、組織としての身軽な改革

【その他】

- ・みんながお互いを尊重し合う言葉や行動。
- ・社会全体の雰囲気が変わらないと無理だと思う。そもそも、やはり男女で性別が違うので、性別によってできない職業もあると思う。全て平等は無理だろう。と思う。
- ・無理です。この世の中は男尊女卑絶対変わらないです。
- ・特に年輩の方は、男はこうあるべき女はこうあるべき、という固定概念が強いと思います。令和版にアップデートされることを望みます。
- ・配置基準の見直し

【自治体による発信】

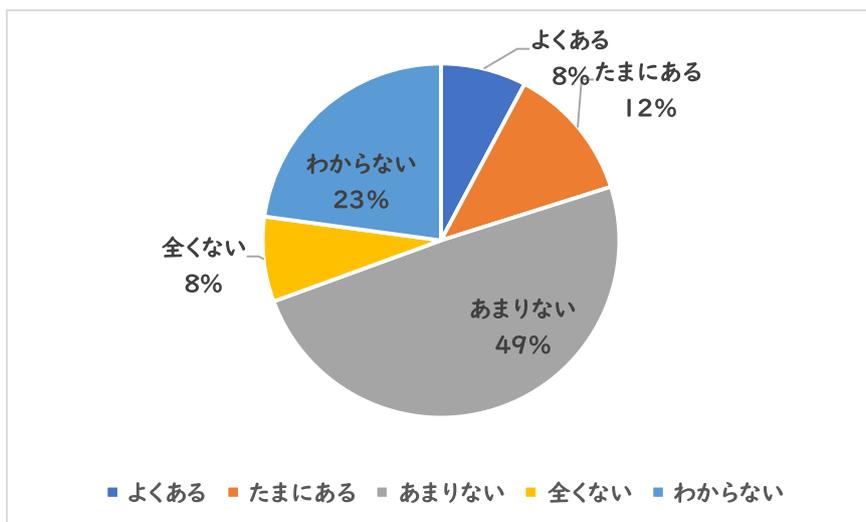
- ・社会や学校での啓蒙
- ・実体験を家庭、職場、国に共有し現実を理解してもらう
- ・雇用拡大
- ・市政方針として発布。

・国、地方公共団体次第。

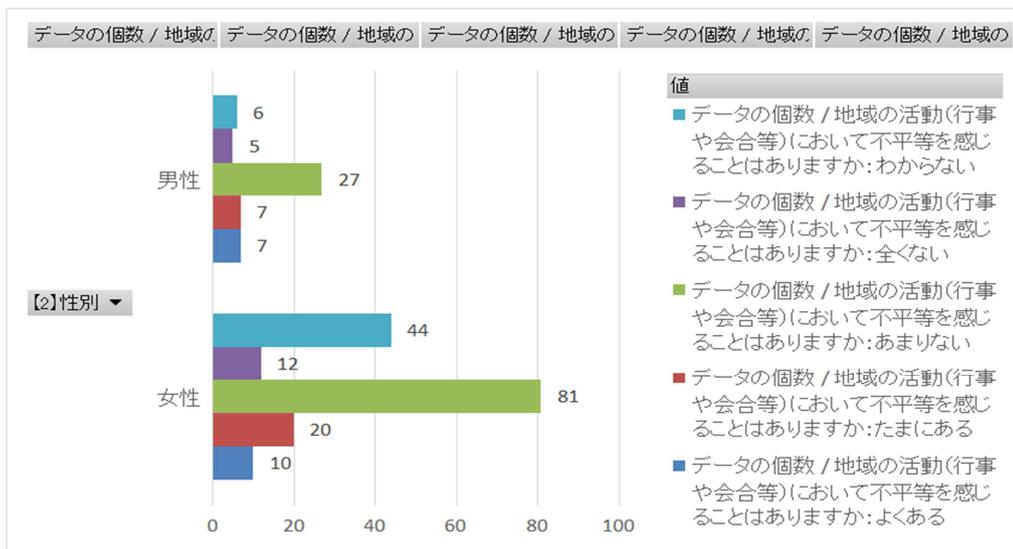
地方公共団体としては、子育て応援企業等、ある。私の会社では表彰された事があるが、中身が伴っていない。子の看護休暇は制度としてあるが、有給ではない。子どもの看護に伴う休暇は、1日ごとに給与から1万円程度引かれてしまう。中身の伴うものにしてほしい。

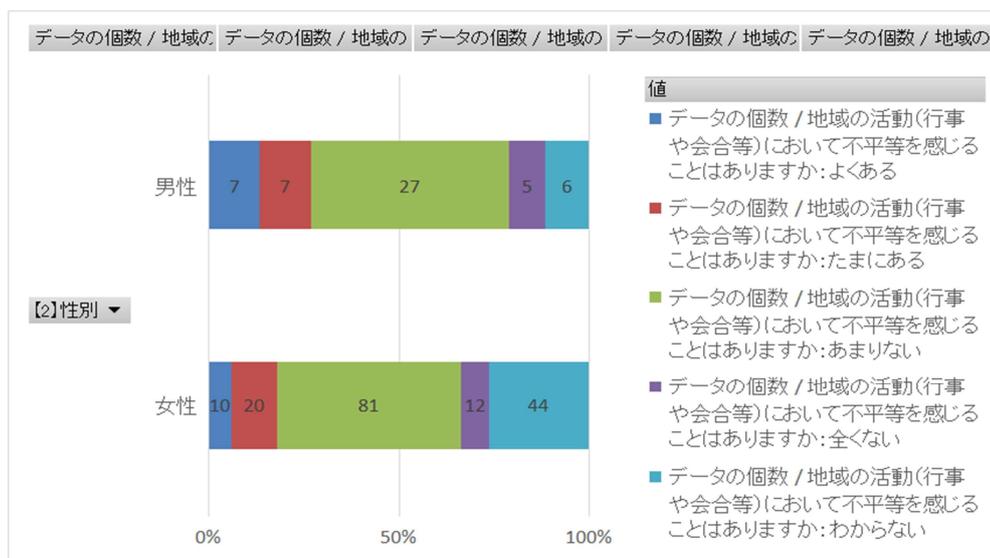
4. 地域

①地域の活動（行事や会合等）において、性別による不平等を感じることはありますか。



	人	%
よくある	17	8%
たまにある	27	12%
あまりない	108	49%
全くない	17	8%
わからない	50	23%
計	219	100%





②それはどんな時ですか。

【性別による役割分担】

- ・消防団に入団するのは当然、男性であると認識されている。その為高齢化の進んだ地域ではなり手がいない。同じ人が繰り返し消防団の役をすることになりとても不平等を感じる。
- ・男性の活動数（祭りの準備等）が圧倒的に多い。男性の会はあるのに、女性の会はない、等
- ・夫の出身地に住んでいるので、夫が参加する行事が多い。女性部に入るよう言われたが、なぜ女性部があるのか、はいらなければならないのか、わからない。
- ・子供も減ってきていて、共働きが多い今の時代で普通の行事をしていくのはつらい。獅子舞なども全部の家庭を回るのでなく、公民館で待つなど
- ・掃除は婦人会
- ・役員が男性ばかりで構成されている。
- ・男性ばかり役があたる
- ・女の人が料理系や後片付け、お酒をついでまわるなど担当している
- ・男は地区の獅子舞など行事に出るのが当たり前との風土が令和のこの時代でも強い。子どもとの時間を増やせばいいのに意味がわからない。よくわからない理屈で強制させるのはやめてほしい。
- ・子育て世代よりも元からいる人間が飲んで騒ぐ場所となっている。子供達はついでのような扱い。
- ・敬老会受付は「女性」って決めてある。男性でも良くない？
- ・獅子舞に女子が参加できない。
- ・祭りは男の行事の名残が残っている。小さな子供がいても配慮があまりない
- ・女性はバーベキューなどの世話係をして当たり前だと思って、仕事を割り振ってこられるとき

- ・料理や売店のようなものは女性と決まっている
 - ・女性の参加率が悪く、役も当てられない。
 - ・地区で行われている獅子舞に娘が出たがっているが出れない。
 - ・子どもがいても行事に中心な男性は大変な面もあると思うが、自由にお酒を飲んでストレス発散できていると感じる。
 - ・女性部や青年団が男女別なこと、水仕事は女性、力仕事は男性だか、平等にすると女性には限界がある。
 - ・獅子舞の比率。
 - ・班長や役員は男ばかり
 - ・女性は祭りに参加できないこと
 - ・男と女で、仕事が全く分かれている。お宮に入るのは男、など。お酒の準備や配膳は女。
 - ・地区の役員や様々な活動が、男性に回ってくること。
- 慣習的に、一家の代表として男性が表に出る役割をしているのだと思う。女性の立場からすれば、負担はないのだが、男性は大変だろうと思う。
- ・獅子舞は女性は参加しなくていいという風習。
 - ・男性は力仕事、女性はその他の仕事と振り分けられていることが多い

③どのような変化があれば、地域が活性化されると思いますか

【意識改革】

- ・必要のないことをしている消防団の活動を極力なくす。
- ・地元に残る人を増加させる
- ・女性が子連れで参加しやすい会合や行事があれば良い。女性部は必要なのか？
- ・今と昔で同じことを続けていくのは難しい。新しい意見も取り入れていく。
- ・女性役員も起用するべきだが、声を上げる女性もいないのだと思う
- ・若者が増える
- ・福光地域や石黒、広瀬など地域によって若い人の差がある。分けずにまとめて行事を行う。
- ・今までしてきたことを意味なく継続すること＝活性化している、と思っている人が多いと思う。コロナ下で外出が減っても地域が活性化していないと感じなかった。むしろ飲食店をなんとかしようとして一体感が出たと思う。イベント＝活性化との考え方はやめた方がいいと思う。不要なことはやらないのも活性化だと思う。
- ・男女平等
- ・できる人がする。やりたい人がする。手が空いている人がすればいい。
- ・若い世代に呼びかける
- ・スポーツ少年団等の地域活動の奨励
- ・育休や子育て支援以外の有給制度
- ・女性の意見を受け入れた地域活動

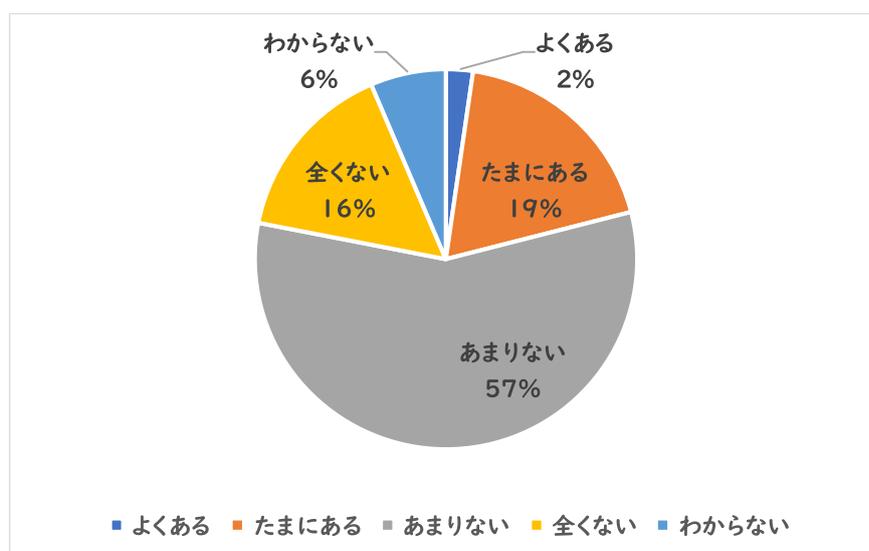
- ・男女で取組む
- ・老人を外す。責任者の世代交代。
- ・若い人も楽しめる施設
- ・男性が女性の意見を聞くことがあれば地域がもっとよくなると思う。

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか

- ・消防団の存在を無くす。
- ・情報交換
- ・昔の人の固定概念をかえる。
- ・意識改革、更新
- ・青年部や女性部等活発になって欲しい。(人はいないけど)
- ・南砺市に住むメリット、お金手当とか、子育て優遇とか
- ・考えを改めること。
- ・声掛け
- ・若い人の意見を聞いてあげてほしい。今の環境で、育児をしておられる、頑張っている女性の意見を聞いてほしい。自分の子を預けてまで、手伝いに出される母親の気持ちを理解してほしい。
- ・自治体の奨励、企業、家庭の理解。
- ・男女平等の事例や体験を周知する
- ・市政方針を發布。

5. 平等感

①ご自身の性別に関して、損をしたと感じることはありますか



	人	%
よくある	5	2%
たまにある	41	19%
あまりない	125	57%
全くない	34	16%
わからない	14	6%
計	219	100%

②それはどんな時ですか

【職場環境の違い】

- ・給料の差を感じる時。男性スタッフの対応が私だけの時と夫や父と一緒にの時とでは違う時
- ・子どもが病気で呼び出しきた場合母親が動かんなん事
- ・子供を産むまでの間に役職になった際に、育休明けにその立場が保証されないとき。
- ・働き方
- ・仕事、家事、育児。タスクが多い。育児でキャリアが一時的にスタッフするし、休んだ後の復帰の負担も大きい
- ・キャリアや給料について
- ・追い詰められても、許されない。
- ・女性だからという言動

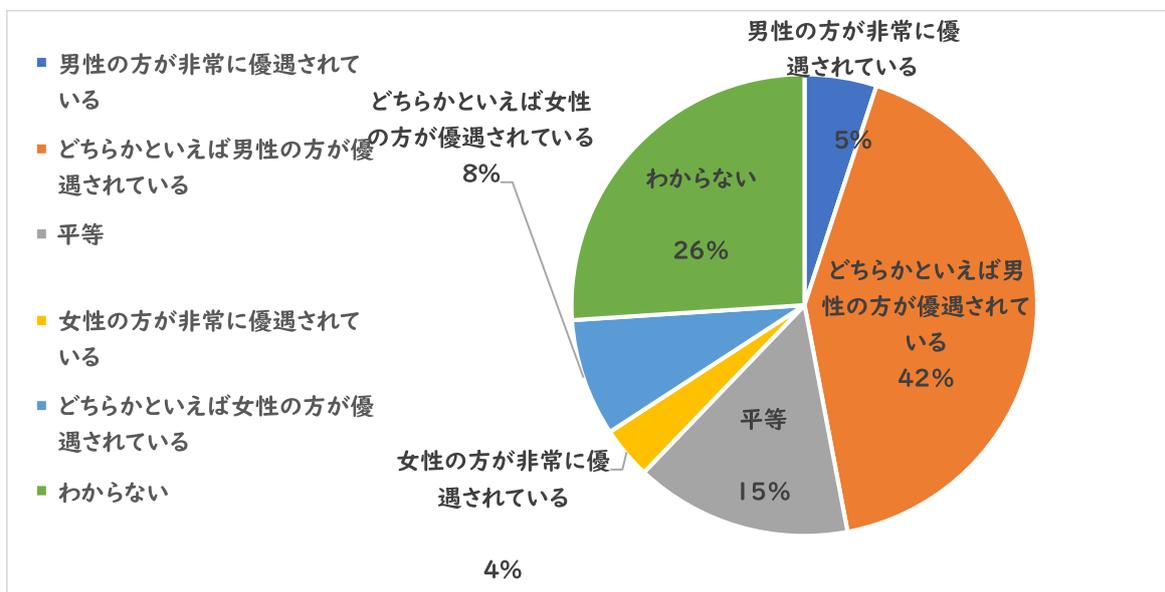
【性別による役割分担】

- ・家庭は女が守るという概念が家族にも自分にもあって、女が負担がでかい
- ・疲れているのに妻より早く寝てしまうと愚痴られるところです。
- ・役員を選ぶ際に、会長は男性がやるものと決めつけがあること
- ・育児や家事にとられる時間。
- ・子供の体調不良の時は私が休むことが多いから

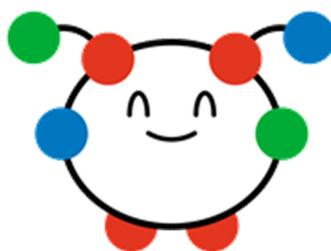
【身体的違い】

- ・出産、育児、命に関わる大半を担う性別であること
- ・女性の方が見た目で見られることが多い事。(容姿等)
- ・妊娠出産を経ての家事、育児の負担率や仕事と家事と育児の両立
- ・妊娠出産による身体の負担
- ・体調が悪い、働けなくなる、推し活できない、酒が飲めない。全部自由を奪われること

③男女の地位の平等感について、どのように考えますか

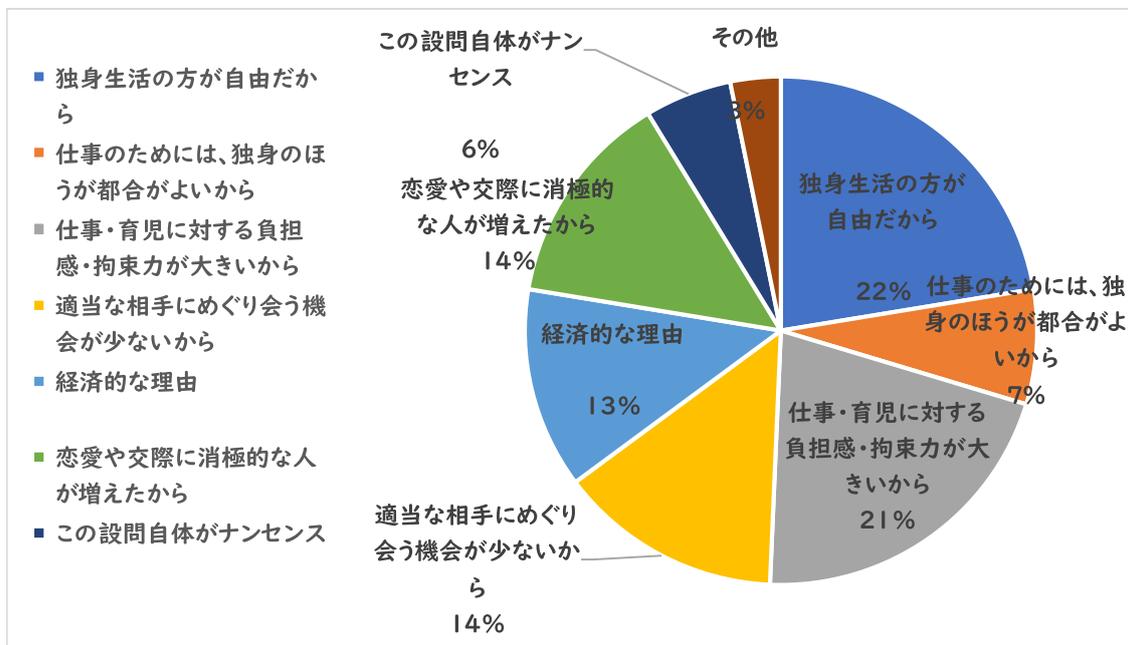


	人	%
男性の方が非常に優遇されている	11	5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	92	42%
平等	33	15%
女性の方が非常に優遇されている	8	4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	18	8%
わからない	57	26%
計	219	100%



6. その他

①未婚化・晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか

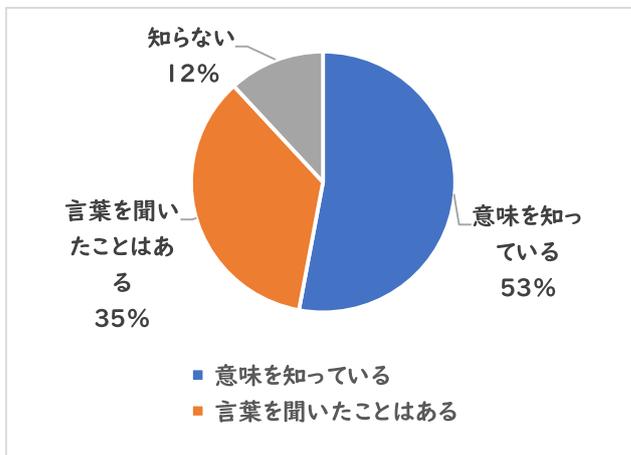


	人	%
独身生活の方が自由だから	49	22%
仕事のためには、独身のほうが都合がよいから	16	7%
仕事・育児に対する負担感・拘束力が大きいから	46	21%
適当な相手にめぐり会う機会が少ないから	31	14%
経済的な理由	28	13%
恋愛や交際に消極的な人が増えたから	30	14%
この設問自体がナンセンス	12	6%
その他	7	3%
計	219	100%

① その他回答（理由）

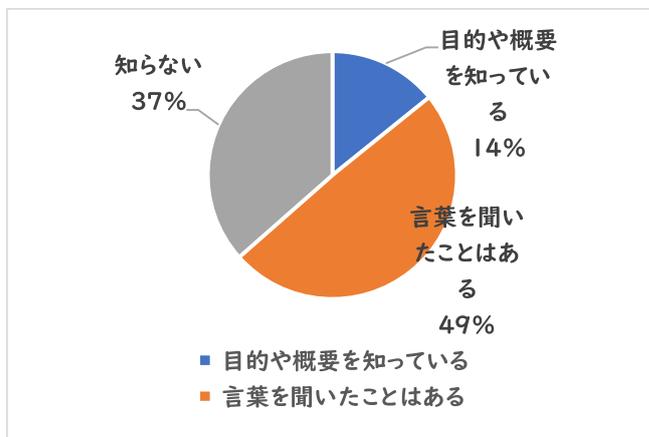
- ・結婚式して自由がなくなるから結婚していいイメージがないのかも。また自由に使える金がなくなるなど、縛られることがふえるから、男性はしたがない。女性はわりと30歳前は焦ってしまっていると思う。
- ・晩婚も未婚もそれぞれの自由
- ・昔のようなお見合い結婚が減ったから
- ・人付き合いが苦手、コミュニケーション能力の低下
- ・ネット環境の普及で面白い物との出会いが増えて、自分の時間を優先する人が増えたと思います。

② 「ジェンダー平等」という言葉をご存じですか



	人	%
意味を知っている	116	53%
言葉を聞いたことはある	77	35%
知らない	26	12%
計	219	100%

③ 「女性差別撤廃条約」を知っていますか



	人	%
目的や概要を知っている	31	14%
言葉を聞いたことはある	108	49%
知らない	80	37%
計	219	100%

④その他、市の施策について思われることをご自由に記載ください

・城端線の利便性向上を望みます。具体的には、特に夕方と夜の本数の増便、過疎駅を廃止し速達性の向上。

・小中高でも人数が少なく、地元だけじゃ選べる人が限られてくる。給料が少なく、ある程度お金を貯めてから結婚を考えたい場合、だいたい期間が必要になる。初めにアパート暮らしするにしても、新築がなさすぎて南砺市内での結婚は考えづらい。

・私の子供は体調を崩しやすいのですが、南砺市の医療費助成制度にとっても助けられています。ありがとうございます。私たちが毎日子供を預けて安心して働くことできるのは保育士さん方のおかげだと心からそう思っております。ただのお節介だけでお願いすると、市から保育士さんのサポートを手厚くしていただきたいです。人数や経済的な面等です。いつも子供達を守り優しくご指導して下さる保育士さん達になにかしらの還元をお願いいたします。

・学童は無料で利用できてありがたいが、祖父母がいる場合や、学年が上がったら利用しないように声をかけられる。図書館や児童館が遠いので、子供だけでは利用できない。放課後に学校から図書館や児童館に行けるバスなどがあるとありがたい。

・井口の学童が長期休暇に対応していないので何かすることは可能ですか？それか南砺市内の学童何処でも通えるようには出来ないでしょうか？

・南砺市全体的に男女での役割や、考え方が古いままである。市長だけが革新的に動いてるが周り、市民がついていけない。若い人が活躍できるといいが、年寄りが口を挟むことが多い。挟むことが悪い訳じゃないが幅をきかせていることが成長を阻んでる気がする。賃金や、職種、役職も、まだまだ差を感じる。雇用側が古い考えの企業が多い。終身雇用の時代を終わらせて欲しい。能力ある人は南砺市では働けない。

・子供の習い事の時間が早く、フルで働いていては基本的にできない。体感格差になる。送迎の送り迎えや子供が熱出した時など、、基本的に祖父母頼ってくださいスタンスの環境。福光は学童が学校に併設されていない。また2年生までなど、不便。子の有給も1人につき5日だと思っていたが、2人までだときいた。ひとりひとり、保育園や小学生のイベントがあるのに、なぜ最大10日までなのか。

・移住者支援や移住者が店を構えるための補助金もわかるが、地元の既存の人に対しての場所作りやお店作りがなっていないので、補助金や助成金の使い方を考えてほしい。

・東京から引っ越してきましたが、ここ富山県で多様化は難しい。娘が感じた事は人と違う見た目ってだけで本当によく見られるし陰口のようなものを言われる。しかも大人がやっている。子供同士はそういう世界観なんだと理解しているが歳をとっている人の方が偏見がすごいと感じます。なので大人世代の方達に理解を深めるか、もしくは見て見ぬふりをするしかないのかなって感じます。

・男女平等にはなって来ていると感じる。が、子供を連れて出かけた時等、女性トイレにはオムツ交換の台があるのに男性トイレには無く…パパが『ごめんオムツ台無いから頼む』っ

て言われた時まだ平等じゃないんだなーと感じる。公共施設の男性トイレにも設置して欲しい。

・育児での支払い等がけっこう大変な世の中ですが、少しでも給付していただけたらと思います。

・中学校の部活動拠点化は愚策。子育ての負担を増やすだけ。

・利賀の地域の方で整備された遊具は僅かにあるが、利賀地域は市で整備された遊具で遊べる公園が一つも無いことは非常に残念

・自然は豊かだけど、公園等子どもと遊べる施設が少なく、高岡や石川まで行くことが多い。冬は余計雪で遊ぶところがない。石川県には子どもと遊べる屋内施設が多いです。ぜひ南砺市にもそういう場所がほしいです

・子供の遊ぶところがなく金沢や高岡まで行って遊ばせています。保育料も高く、他の市がいいなーと思っています。その点でも人口が増えなかったり結婚して南砺市に住みたいと思えない理由なのかもしれないです。

・公共トイレや商業施設内トイレで男性側にオムツ替えスペースが無いことが多いので対策をお願いします。

・今の意識改革を継続して行ってください

・何をしているのか、あまり伝わらない。各地域ごとに、小規模で案内や相談を受けてはどうか。

・子供の年齢に関わらず、両親が仕事を、休みやすい地域政策などあれば嬉しいです

・結婚している、子どもがいるメリットが気持ちの問題以外にない。

・働きやすい職場になってほしい。現場では体制が困窮しており上司やそれより上に伝えても改善されません。退職も視野に入れていきます。

